



好学愛知
自律敬愛
質実剛健

鶴丸イ言

感謝の修学旅行

二年主任 岩田 裕児

3年ぶりの東京方面への修学旅行であった。コロナ感染症やGO鶴セミナー(OBの企業訪問)の実施方法についての不確定要素が多く、いろいろな案内も大幅に遅れ、準備段階から生徒や保護者の方々にも申し訳なく思いながら進めた。体調管理についても関係者の指示を仰ぎ、養護教諭の協力を得ながら慎重に行った。修学旅行の3日間は天気予報のD判定を大きく覆し、曇り空に涼しい風が吹き、厚い雨雲も避けてくれる奇跡的に快適な天候に恵まれた。

私も今年は経験できることが第一。過去と同じレベルでなくても生徒たちは確実に何かを感じ取ってくれたと期待し、学年の職員の間でも、絶対行かせましようとの声が多い中で進めた。過去と同じレベルが厳しいというのは、メインであるGO鶴セミナーと大学訪問においてはコロナ感染症に伴う影響が大きいという点においてである。

GW明け、GO鶴セミナーの件で東京鶴丸会の方2人と学校側3人でオンラインで打ち合わせを行った。企業訪問の受け入れ状況は4月末時点で200名分弱であること、企業側としても安全面を考慮して今年は見送らせてほしいとの返事もきていることなどを伺った。さらに例年の計画より数週間の遅れがある。この状況下でどう進めていくかという検討をした。企業への声かけを広げてみますか、という東京鶴丸会の方の厚意に、学校側も実施できなかった場合を考えると手を煩わせてしまうだけかもしれないと判断し、受け入れ人数が生徒数分に満たなかった場合は、GO鶴セミナーに行けなかった生徒はホテルのホールでOBの講演を聞くという形でまとまった。会議の後、私が逆の立場なら自分の仕事もある中、上司の許可を取ったり、コロナ対策をしてまで後輩たちの受け入れをしたりするだろうかと考え、深謝した。数日経ってメールが入った。その内容はGO鶴セミナーの

受け入れ先が不足していることを聞き、まだ不足しているのであれば引き受けますよとのこと。不安が募っている私に大きく勇気を与えてくれる「For others」の一端であった。数日後には320名分が確保できたという連絡、更に感染症等で急に受け入れができなくなった企業が生じたときの割り振りもしてくださっている事を心から有り難く感じた。

大学訪問についても、過去の修学旅行で東京大学訪問時に講義をしてくださった本校OBの教授に連絡したところ、現在は、校内に入れないので、構内で声かけなどできることはやりますとの返事をいただいた。また、東京大学の地方高校生を支援するサークル(FairWind)に所属している本校の卒業生に依頼した際も快く引き受けてくれた。当日は、1クラスに2人の案内をつけて、約1時間、構内の歴史的な建造物等の説明をしてくれた。東京方面で大学の案内を依頼できるのが東京大学であるとは恵まれたものである。また飛行機内、添乗員の方などにも卒業生がおられ、大変お世話になった。アンケート結果を見ても、まだ工夫をしなければいけないところもあるが、多くの生徒や保護者が充実していたとの回答であり、OBの方々をはじめ、多くの方々に感謝したい。ひよっとしたら生徒の中には、今は「鶴丸」と言われることに辟易する人がいるかもしれないが、間違いない縁を有り難く感じる時が来る。

自由散策も、生徒たちは様々な楽しみ方をしていった。時代の変化に対応し、自ら開拓していく高校生に力に逞しさを感じた。2年生はもうすぐ高校生生活の折り返し地点。修学旅行を機に新たに羽ばたき始めることを確信している。



中学生一日体験学習が実施されました

8月1日(月)・2日(火)、中学生の一日体験入学が行われ、県内外78の学校から538人の中学生が参加しました。今年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策に十分努めながら実施されました。万全を期すため、例年行っていた体験授業や保護者説明会を今年も行うことはできませんでしたが、それでも、両日とも2つのグループに分け、「生徒会による学校紹介」「放送部が作成したDVDの視聴」「卒業生による体験談」「校内施設見学・部活動見学」を、順番を入れ替えながら行いました。校内の施設見学や部活動見学では、さらに少人数のグループに分け、生徒会執行部とボランティアで参加した生徒たちが案内人となり、校内の散策と部活動の説明を行いました。司会進行も放送部の生徒が行い、本校生徒が中心となって運営された体験入学でした。参加した中学生は、鶴丸高校の教育への理解を深め、進学に対する意識を高めていました。



一学年東京大学見学ツアー

7月29日(金)から7月31日(日)の3日間わたって、1学年有志143名による東京大学見学ツアーが実施されました。旅行中は朝食を徹底するなど、生徒一人一人が高い意識を持って感染症対策に取り組むことができました。

1日目の夏季悠学講座修了後、一行は鹿児島空港から東京へ出発しました。今回初めて東京へ行くという生徒も多く、飛行機の離陸時の振動やホテルへ移動するバスからの夜景に歓声が上がった場面が見られました。

2日目の東京大学見学では、本校卒業生の東大生による本郷キャンパスの案内ツアーの後、東京大学工学部応用化学科大学院工学系研究科応用化学専攻の米里健太郎特任教授(第63期卒業生)の講演・研究室訪問が行われました。世界の最先端の研究内容や充実した設備を肌で感じることで、生徒たちは大学に対する憧れを大きく膨らませました。

2日目の夜は、ホテルで総勢18名の東大生との懇談会が開催されました。大学生活や専攻する学問、また高校時代の学習や部活動についてなど、生徒たちは時間いっぱい先輩方から貴重なお話をいただくことができました。また、テレビ朝日アナウンサーの武隈光希さん、参議院議員の村田享子さんのミニ講演も同時に実施され、会場は大いに盛り上がりました。

3日目は本校卒業生勤務の企業見学として、atama+株式会社を訪問しました。共同創業者/取締役の中下真さん(第51期卒業生)は、今年度の創立記念式典でも御講演をいただいています。社員の方2名を交えたパネルディスカッションでは、文理選択や将来の進路について、非常に参考になるお話をお聞きすることができました。人工芝が敷かれた開放的なオフィスに驚いた生徒も多かったです。午後は自由研修として、生徒各自が自身で計画した場所を訪れ、充実した時間を過ごしていました。

多くの卒業生の先輩方の御協力のおかげで、2泊3日の見学ツアーを無事終了することができました。参加した生徒たちには、感謝の心を忘れず、今後さらなる高みを目指して学習に励んでほしいと思います。

【参加した生徒の感想】

・ 遠い存在に感じていた人達がすぐ側で話していて、しかも質問に対してわかりやすく簡潔に答えて下さり、充実した時間になりました。

・ 東京って本当に鹿児島と違うんだと感じた。街並みを見ているだけでも、東京はひとりひとりの個性や感性が大事にされているところなんだと思った。勉強もつがんばって、東京行きたい!

・ 貴重な経験をさせてもらった。東大なんて自分には縁のない所だと思っていたけど、国立だと知ってもう勉強すればもしかしたら入れるかもしれないと思った。

・ この企画を立ててくださった方がどうございました。自分一人では東京までは行けないし、東大もあまり視野に入れていなかったけど、とてもいい経験になりました。もっとうるんな大学、学部を調べてみようと思いました。

・ 鶴丸の卒業生ということもあり、自分たちの悩みに寄り添った回答をしてくださり、自分の勉強に活かせそうだった。自分と同じ悩みを持っていった時期があったりその解決方法を教えてくださったりのように思えた。東大は遠い世界のことのように思えたが、先輩方の話を聞いているうちに、鶴丸に通っている以上遠い話ではないと思えてきた。先輩方も努力を重ねていたことを知ったので自分ももっと努力しようと思った。

9月の行事予定

日	曜日	行事	学食
1	木	体育祭予行予備日 3年実力考査時間割発表	○
2	金		○
3	土	第74回体育祭	×
4	日	体育祭予備日	×
5	月	体育祭振替休日	×
6	火	学年朝会(1年)	5分遅 ○
7	水		○
8	木	実力考査(3年)	3年考査 ○
9	金	実力考査(3年)	3年考査 ○
10	土		×
11	日		×
12	月	学年朝会(全学年)	5分遅 ○
13	火	SC来校(児玉先生 13:30~17:30)	○
14	水		○
15	木		○
16	金		○
17	土	修学旅行 00鶴セミナー(1年) 01鶴セミナー発表会(2年) 02オンライン個別説明会(14:00~18:00)	×
18	日		×
19	月	敬老の日	×
20	火		○
21	水	「AIと経営」高校生講座講演会 (14:20~17:20)	○
22	木	前期終業式 大掃除 SC来校(大島先生 13:30~16:30)	○
23	金	秋分の日	×
24	土		×
25	日		×
26	月	秋季休業日	×
27	火	秋季休業日	×
28	水	秋季休業日	×
29	木	秋季休業日	×
30	金	秋季休業日	×

↑発行時の予定です。変更にご注意してください。

